



平成 23 年 10 月 25 日  
株式会社海遊館 広報チーム  
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1  
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551  
<http://www.kaiyukan.com/>  
(担当：村上、齋部、西村、田井、鈴木)

## 11月1日の計量記念日に

### ジンベエザメ「遊ちゃん」の全長を計測します

大阪市港区の海遊館では、平成 23 年 11 月 1 日(火)の“計量記念日”にジンベエザメの「遊ちゃん」の全長および、ナンヨウマンタ、イトマキエイの体盤幅（横幅）の計測を行います。

ジンベエザメの全長計測は、「太平洋」水槽の水中（深さ約 1m）に沈めた基準尺（長さ約 1.5m の棒の中央部 1m を 50cm ずつ赤白に塗りわけてあります）とジンベエザメを、水槽上に設置されたカメラで別々に撮影し、コンピューターによる画像処理によってそれらを比較して計測します。また、過去の計測値などから推定して、ジンベエザメの体重も算出します。ジンベエザメの全長計測は、平成 4 年に初



ジンベエザメの「遊ちゃん」

めて実施して以来 21 回目で、現在飼育しているジンベエザメ「遊ちゃん」の計測は今回が初めてです。また、同じ方法でナンヨウマンタとイトマキエイの体盤幅も計測します。

さらに、計量記念日の特別イベントとして、ラッコ、カピバラ、オウサマペンギンの赤ちゃん、カマイルカのそれぞれの「お食事タイム」に合わせて、お客様に体重や尾びれの大きさ（幅）を予想していただき、実際に目の前で計測したり、数にまつわるお話をしたりします。参加された方には、生き物のポストカードなどをプレゼントします。

海遊館では、計量記念日を通して、さまざまな生き物たちの生態や水族館での健康管理を紹介し、自然環境について興味をもっていただければと考えています。



過去の計測の様子①



過去の計測の様子②

### 【計量イベントに関する取材について】

- 1) ジンベエザメの計測の取材をご希望の方は、11月1日（火）午前9時45分にエントランスビル2階「海遊館案内所」にお越しください。 広報チーム員が現場へご案内します。計測は「太平洋」水槽のバックヤードで行うため、通常の飼育作業も行っており、撮影場所を限らせていただきます。また、ジンベエザメが泳いでいる近くで基準尺を沈めることは、危険を伴うためできませんので、あらかじめご了承ください。
- 2) 特別イベントについて、報道関係者向けに午前9時から試験計測を行います。 取材をご希望の方は、11月1日（火）午前8時45分にエントランスビル2階「海遊館案内所」にお越しください。 広報チーム員が現場へご案内します。
  - 試験計測のスケジュール

9：00～	ラッコ	体重の計測
9：15～	オウサマペンギンの赤ちゃん	体重の計測
9：30～	カマイルカ	尾びれの大きさ計測
9：45～	カピバラ	体重の計測

※当日の海遊館の開館時間は、9時30分です。
- 3) 本件の取材に関するお問い合わせは、  
TEL：06-6576-5529 海遊館 広報チーム までお願いします。

### 1. 【ジンベエザメ「遊ちゃん」の計測について】

日 時 平成23年11月1日（火） 10：00～10：30  
場 所 海遊館8階「太平洋」水槽バックヤード

### 2. 【ジンベエザメの「遊ちゃん」について】

「遊ちゃん」は、平成23年6月21日、高知県室戸市室戸岬町椎名沖の定置網に入網し、同日に高知県土佐清水市以布利の海遊館の研究施設である「大阪海遊館 海洋生物研究所以布利センター」に搬入されました。同年7月22日に以布利センターから海遊館に輸送し、7月23日から一般公開しています。推定年齢は5～6歳で、搬入時の全長は4.1m、推定体重900kgでした。現在はオキアミやイサザアミなどを一日あたり約7.5kg食べています。



ジンベエザメの「遊ちゃん」

### 3. 【計量記念日 特別イベントについて】

実施日 平成23年11月1日(火)

場 所 海遊館内

内 容 生き物たちの「お食事タイム」に合わせて、お客様の目の前で実際に体重や尾びれの大きさ(幅)を計測し、数にまつわるお話をします。

お客様には、事前に体重や大きさを予想していただき、参加者にポストカードなどをプレゼントします。

#### スケジュール

13:30～ カピバラ(「エクアドル熱帯雨林」水槽) 体重測定

14:45～ オウサマペンギンの赤ちゃん(「南極大陸」水槽) 体重測定

15:00～ ジンベエザメ(「太平洋」水槽) 数にまつわるお話

15:45～ ラッコ(「アリューシャン列島」水槽) 体重の測定

16:00～ カマイルカ(「タスマン海」水槽) 尾びれの大きさ(幅)の測定



ラッコの体重測定の様子



カピバラの体重測定の様子

#### 4. 【ジンベエザメ】 英名 : Whale shark 学名 : *Rhincodon typus*

温帯から熱帯の沿岸および外洋に生息する大型のサメで、日本近海では黒潮に乗って春から秋にかけて現れます。体は灰色で白色の斑点が散在し、小型甲殻類などのプランクトンを食べます。最大 10~12m、稀にさらに大きく成長する可能性があると考えられています。

#### 5. 【ナンヨウマンタ】 英名 : Alfred manta ray 学名 : *Manta alfredi*

トビエイ科。オニイトマキエイに次ぐ大きさで、成長すると体盤幅は 4m を超える巨大なエイ。頭部には左右一対の頭ビレがあり、普段は巻いた状態で前方に突き出して角のように見えます。体は菱形で、背側は黒く肩帯部に大きな白い斑紋があります。腹側は白く黒い斑点模様があります。背面の白い斑紋の前縁がV字状をしていて、その形状などでオニイトマキエイと区別することができます。全世界の暖かい海域の主にサンゴ礁域や沿岸域に生息しています。ジンベエザメ同様、プランクトンを餌にしています。海遊館では平成 11 年 12 月 14 日に搬入したオスの個体を飼育しています。平成 22 年 11 月 1 日の計測結果では、体盤幅 3.20m でした。

#### 6. 【イトマキエイ】 英名 : Spinetail mobula 学名 : *Mobula japanica*

トビエイ科。南日本から東シナ海、南シナ海、ハワイにかけて分布する大型のエイで、頭部の両端にある頭ビレが特徴です。「オニイトマキエイ」に似ていますが、「オニイトマキエイ」では口が頭部前縁に位置するのに対し、「イトマキエイ」では頭部腹面に位置すること、また背ビレの後ろにトゲがあることで見分けることができます。日本国内で見られることは稀で、成長すると体盤幅が 2m50cm 以上になります。「イトマキエイ」の餌付けと長期的な飼育には、世界中の水族館で海遊館が初めて成功し、平成 20 年 6 月 1 日より「太平洋」水槽にてメス 1 尾を展示しています。平成 22 年 11 月 1 日の計測結果では、体盤幅 2.39m でした。

#### 7. 【計量記念日について】

計量に関する制度は、経済・社会の最も基本的な制度であり、国民生活のあらゆる分野の基盤的制度です。計量の基準を定め、適正な計量を確保することは、日常の生活を守るとともに、経済の発展及び文化の向上のために非常に重要なものです。経済産業省では、現行の計量法が施行された平成 5 年 11 月 1 日にちなみ、以後 11 月 1 日を「計量記念日」とし、計量法の適切な実施とともに計量思想の普及啓発に努めています。電気記念日（3 月 25 日）、発明記念日（4 月 18 日）、貿易記念日（6 月 28 日）とともに、経済産業省 4 大記念日のひとつです。（社団法人日本計量振興協会ホームページより）